



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月31日

上場会社名 株式会社 アトム
 コード番号 7412 URL <http://www.atom-corp.co.jp/>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石川 恵輔

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 春名 秀樹

TEL 052-857-5225

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	38,093	1.9	196	67.5	236	61.6	996	
2019年3月期第3四半期	38,839	3.0	603	46.6	616	47.2	87	

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 978百万円 (%) 2019年3月期第3四半期 112百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	5.70	
2019年3月期第3四半期	0.76	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	29,258	13,969	47.7	53.88
2019年3月期	29,453	15,385	52.2	61.47

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 13,969百万円 2019年3月期 15,385百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		2.00	2.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,281	0.7	1,643	2.8	1,662	2.0	524		3.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	184,559,297 株	2019年3月期	184,559,297 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	472,165 株	2019年3月期	471,989 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	184,087,201 株	2019年3月期3Q	184,087,755 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済情勢は、米中を中心とした保護主義的な経済政策とこれに伴う貿易摩擦による長期的な海外経済の低迷が懸念される中、輸出や製造の一部に弱さが垣間見られます。また労働力人口低減の中、雇用・個人所得の改善に向けた働き方改革に伴い人件費が高騰、消費増税後の国内消費の低迷の影響もあり、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

上記の経済環境の中、当社グループの当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高は380億93百万円（前年同期比1.9%減）、営業利益は1億96百万円（同67.5%減）、経常利益は2億36百万円（同61.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は9億96百万円（前年同期は87百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

当第3四半期連結累計期間において新規出店を5店舗、ブランド変更を6店舗、改装を3店舗行い、不採算店11店舗、賃借契約終了により2店舗及びFC契約終了により1店舗を閉鎖し、また、営業店舗の譲受により2店舗増加したため、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は468店舗（直営店454店舗、FC店14店舗）となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

<レストラン事業>

レストラン事業につきましては、新店4店舗（「ステーキ宮」）、ブランド変更を4店舗（「炭火ダイニング暖」から「カルビ大将」へ1店舗、「甘太郎」から「カルビ大将」へ3店舗）、改装を2店舗（ステーキ宮）、不採算店9店舗（「ステーキ宮」6店舗、「ステーキとローストビーフ井宮」1店舗、「徳兵衛」1店舗、「風神社中」1店舗）の閉鎖を行い、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は278店舗であります。

以上の結果、レストラン事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、262億35百万円（前年同期比0.5%減）となりました。

<居酒屋事業>

居酒屋事業につきましては、新店1店舗（「やきとりセンター」）、ブランド変更を2店舗（「ラパウザ」から「やきとりセンター」へ1店舗、「いろはにほへと」から「やきとりセンター」へ1店舗）、改装を1店舗（「ねねや」）、不採算店2店舗（「甘太郎」1店舗、「いろはにほへと」1店舗）と賃借契約終了により1店舗（「いろはにほへと」1店舗）の閉鎖を行い、また、営業店舗の譲受により2店舗増加したため、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は145店舗であります。

以上の結果、居酒屋事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、93億71百万円（前年同期比5.8%減）となりました。

<カラオケ事業>

カラオケ事業につきましては、賃借契約終了により1店舗（「時遊館」1店舗）の閉鎖を行い、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は31店舗であります。

以上の結果、カラオケ事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、18億41百万円（前年同期比1.5%減）となりました。

<その他の事業>

その他の事業につきましては、FC契約終了により1店舗（「徳兵衛」）の閉鎖を行い、当第3四半期連結会計期間末の店舗数はFC店14店舗であります。

その他の事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、6億44百万円（前年同期比0.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1億94百万円減少し、292億58百万円となりました。その要因は現金及び預金、売掛金、たな卸資産を主とした流動資産の増加6億27百万円、建物及び構築物を主とした固定資産の減少8億21百万円によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ12億21百万円増加し、152億89百万円となりました。その要因は短期借入金を主とした流動負債の増加19億65百万円、長期借入金を主とした固定負債の減少7億44百万円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ14億15百万円減少し、139億69百万円となりました。その要因は親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び配当金の支払いによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は50億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億59百万円増加いたしました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は16億93百万円となりました。

これは主に減価償却費の計上(12億90百万円)、仕入債務の増加(3億46百万円)によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は8億67百万円となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出(10億20百万円)及び敷金及び保証金の回収による収入(3億10百万円)によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は6億66百万円となりました。

これは主に短期借入金による調達(14億30百万円)、長期借入金の返済による支出(10億90百万円)、フィナンス・リース債務の返済による支出(5億68百万円)、配当金の支払額(4億37百万円)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年10月31日に発表いたしました通期の連結業績予想の数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,845	5,004
売掛金	1,002	1,297
たな卸資産	368	561
その他	712	692
流動資産合計	6,928	7,555
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,133	8,755
土地	2,947	2,947
その他(純額)	1,978	2,050
有形固定資産合計	14,058	13,753
無形固定資産		
のれん	481	391
その他	77	96
無形固定資産合計	558	488
投資その他の資産		
敷金及び保証金	6,027	5,819
その他	1,906	1,669
貸倒引当金	△27	△27
投資その他の資産合計	7,907	7,461
固定資産合計	22,524	21,702
資産合計	29,453	29,258
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,065	3,411
短期借入金	—	1,430
1年内返済予定の長期借入金	1,436	1,201
未払法人税等	425	121
販売促進引当金	553	847
引当金	2	96
その他	3,561	3,901
流動負債合計	9,044	11,010
固定負債		
長期借入金	2,544	1,688
資産除去債務	1,234	1,261
その他	1,244	1,328
固定負債合計	5,023	4,278
負債合計	14,067	15,289
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,073	4,073
資本剰余金	7,116	7,116
利益剰余金	4,417	2,983
自己株式	△190	△191
株主資本合計	15,416	13,982
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△31	△13
その他の包括利益累計額合計	△31	△13
純資産合計	15,385	13,969
負債純資産合計	29,453	29,258

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	38,839	38,093
売上原価	12,888	12,813
売上総利益	25,951	25,279
販売費及び一般管理費	25,348	25,083
営業利益	603	196
営業外収益		
不動産賃貸料	110	105
その他	70	92
営業外収益合計	181	198
営業外費用		
支払利息	68	60
不動産賃貸原価	93	87
その他	6	9
営業外費用合計	167	157
経常利益	616	236
特別利益		
固定資産売却益	8	8
受取補償金	97	106
特別利益合計	106	114
特別損失		
固定資産除却損	74	49
減損損失	41	607
賃貸借契約解約損	27	2
災害による損失	41	7
その他	2	43
特別損失合計	186	710
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	535	△359
法人税、住民税及び事業税	531	458
法人税等調整額	92	178
法人税等合計	623	637
四半期純損失(△)	△87	△996
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△87	△996

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純損失(△)	△87	△996
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24	18
その他の包括利益合計	△24	18
四半期包括利益	△112	△978
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△112	△978

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	535	△359
減価償却費	1,437	1,290
のれん償却額	89	89
賞与引当金の増減額（△は減少）	△71	96
販売促進引当金の増減額（△は減少）	300	294
支払利息	68	60
固定資産売却損益（△は益）	△8	△8
固定資産除却損	74	49
災害損失	41	7
減損損失	41	607
受取補償金	△97	△106
売上債権の増減額（△は増加）	△104	△295
たな卸資産の増減額（△は増加）	△130	△193
仕入債務の増減額（△は減少）	464	346
未払消費税等の増減額（△は減少）	△170	111
その他	198	334
小計	2,669	2,325
利息及び配当金の受取額	6	5
利息の支払額	△68	△60
補償金の受取額	97	106
法人税等の支払額	△1,409	△683
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,295	1,693
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,104	△1,020
有形固定資産の売却による収入	135	75
敷金及び保証金の差入による支出	△101	△175
敷金及び保証金の回収による収入	204	310
その他	△56	△58
投資活動によるキャッシュ・フロー	△922	△867
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	820	1,430
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△618	△568
長期借入れによる収入	420	—
長期借入金の返済による支出	△1,415	△1,090
配当金の支払額	△435	△437
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,229	△666
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△856	159
現金及び現金同等物の期首残高	5,747	4,845
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,890	5,004

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。